

個体発生は進化を くりかえすのか



生物が胚から胎児に成長するプロセスは、その生物が進化してきた道のりを短縮して繰り返しているという考え(ヘッケルの反復説)が長く信じられてきました。

では、個体の発生する様子を観察すると進化のシナリオがわかるのでしょうか、最新の研究から考えてみます。

講師: **倉谷滋**

理化学研究所
生命機能科学研究センター

3.16(土) 15:00

蘇研究員 30年の集大成

オサムシから

イチジクとイチジクコバチ

研究館と共に30年間歩んできた蘇研究員が、これまでの研究を振り返ってお話します。

4.20(土) 14:00

講師: **蘇智慧** DNAから進化を
探るラボ室長



参加無料
予約不要



配信は
こちら



個体発生は進化を
くりかえすのか

オサムシから
イチジクと
イチジクコバチ

会場 JT生命誌研究館

JR京都線高槻駅より徒歩10分
阪急高槻市駅より徒歩18分

大阪府高槻市紫町1-1 開館日時: 火-日 10:00-16:30 入場無料

